

就学教育相談Q&A

親子で安心して小学校生活をおくるために
先輩ママたちからのアドバイス

アクティブ

目次

はじめに

就学教育相談・学校を決める

- Q 1. 就学教育相談はいつからできますか？ 3
- Q 2. 教育委員会や学校に、子どもに心配なことがあると伝えたら
子どもの不利になりませんか？ 3
- Q 3. 発達が緩やかな子どもも、通常の学級に行った方が、子どもの
発達が進み、伸びるって聞いたけど、本当ですか？ 3
- Q 4. 教育委員会が出している就学に関する情報・資料はありますか？ . . . 4
- Q 5. 相談に行く時、何を準備していったらいいですか？ 4
- Q 6. 「発達支援学級」ではどのようなことを学べますか？ 5
- Q 7. 浜松市内の小学校ならどこも同じですか？ 5
- Q 8. 入学する学校を選ぶことはできますか？ 5
- Q 9. 入学希望の学校を見学したいのですが、どうしたらいいですか？ . . . 6

入学する学校がきまったら…

- Q 10. 入学前にどんな準備をしたらいいですか？ 7
- Q 11. 入学式のような特別な行事が苦手な子です。
当日にむけてどうしたらいいですか？ 8
- Q 12. 仕事をしています。発達支援学級に入級希望でも、
放課後児童会に申し込みできますか？ 9
- Q 13. 浜松市は「集団登校」があると聞きました。集団登校に関する
問い合わせ先はどこですか？ 9

入学後

- Q 14. 担任に子どもの特性を伝えたいのですがどうしたらいいですか？ . 10
- Q 15. 参観日以外の日には授業などを参観することはできますか？ 11
- Q 16. 子どもの困り感を担任に相談するときどのように
伝えたらいいですか？ 11
- Q 17. ①「発達支援学級」、②「通級指導教室」、③「発達支援教室」
それぞれ何が違うのですか？ 12
- Q 18. 何か学校で困った場合の相談窓口はどこですか？ 13
- Q 19. 学校（教育）のこと以外で困った時の相談場所はありますか？ . . . 14

おわりに

はじめに

小学校就学前のお子さんを育てている保護者のみなさんへ

まだ幼いと思っていた、かわいいお子さんの「小学校」という、本格的な集団生活が近づいていますね。保護者として、未知の世界に対するわくわくする気持ちと、不安な気持ちとが入り乱れ、一喜一憂の毎日を過ごされているのではと思います。

そのような複雑な気持ちの中でとても頼りになったのは「先輩ママ達のアドバイス」でした。これは、かつての私たちが知りたかった情報の一部をQ&Aの形式で掲載しました。

これを読んでいただくと、あなたやあなたのお子さんの周りにはたくさんの子育てサポーターがいることに気づいていただけるのでは、と思います。

このQ&Aを通して、私たちと繋がっていただけたことを感謝しつつ、あなたやお子さんにとって『楽しい学校生活への一歩』が踏み出せますように心から応援しています。

就学教育相談・学校を決める

Q 1. 就学教育相談はいつからできますか？

A. 基本、いつからでもできます。

心配だな・・・と思ったら、まずは教育委員会に電話してみましょう。

基本的には、年長（5～6才児）が対象で、申し込みは4～6月、就学教育相談は7月上旬から8月中旬までの流れになっています。尚、9月以降も相談することができます。

さらに、平成28年度より「就学教育相談ガイダンス」という就学教育相談会の内容や入学までの流れの説明、就学先を考える基準や多様な学習の場の紹介等を行うガイダンスがスタート。参加したい場合は、申し込みが必要ですので詳細は下記の連絡先へお問い合わせください。

※平成29年度は、各区役所5会場で5月に開催しました。

お問い合わせ先

浜松市教育委員会

学校教育部 指導課 教育総合支援センター 発達支援グループ

(053-457-2428)

Q 2. 教育委員会や学校に、子どもに心配なことがあると伝えたら子どもの不利になりませんか？

A. 相談することで子どものマイナスになることはありません。

相談は、お子さんが小学校で適切なサポートを受け、楽しい学校生活を送れるよう、準備を整えるために有効です。

Q 3. 発達が緩やかな子どもも、通常の学級に行った方が、子どもの発達が進み、伸びるって聞いたけど、本当ですか？

A. 一概に、通常の学級が子どもの発達に適しているとは言い切れません。

子どもの発達に必要な教育環境は一人一人異なるため、お子さんにとって最適な「教

育の場」を、保護者と教育の専門家と一緒に考えるのが「就学教育相談」です。

Q 4. 教育委員会が出している就学に関する情報・資料はありますか？

A. あります。

浜松市教育委員会ホームページ、冊子「みんなすこやか 浜松の就学・発達相談Q & A」、就学予定児保護者向け案内「夏季・冬季就学教育相談会のご案内」などがあります。資料請求や内容の質問などは、教育委員会 指導課 総合支援センター 発達支援グループにお問い合わせください。

お問い合わせ先

浜松市教育委員会

学校教育部 指導課 教育総合支援センター 発達支援グループ

(053-457-2428)

Q 5. 相談に行く時、何を準備していったらいいですか？

A. お子さんの成長過程がわかるものを準備してください。

- ・はますくファイル(*1) ・母子手帳 ・発達検査等の結果
- ・幼稚園（保育園等）で実施している支援等の情報
- ・子どものかいたもの（絵など）や作ったもの

多方面から、お子さんの情報を伝えることは、子ども理解が深まりお子さんに必要な支援につながります。

この時、準備した資料はコピーして保管し、入学前後の面談などに利用しましょう。

(*1)はますくファイル…浜松市が平成23年8月にスタートさせたお子さんの出生時に配布される生育記録ファイル。

平成23年4月2日以前出生のお子さんについては、お住まいの近くの各区役所にてもらえます。その際、お子さんの母子手帳、保険証、乳幼児医療費受給者証、小・中学生医療費受給者証のいずれかの提示が必要となります。

Q 6. 「発達支援学級」ではどのようなことを学べますか？

A. 教科学習、生活単元学習などが学べます。

一学級8人までの環境で、「教科学習」は通常の学級より少ないかわりに「生活単元学習」、「日常生活の指導」などを学んでいきます。

Q 7. 浜松市内の小学校ならどこも同じですか？

A. 公的に決められている部分（カリキュラム等）は統一されていますが、それぞれの地域や学校によって、行事などには特色があります。

Q 8. 通常の学級に入学する場合、学校を選ぶことはできますか？

A. 原則的には指定された学区の小学校に入学しますが、学区外就学許可の要件をみたせば、選ぶことができます。

《通常の学級の場合》

「小規模特認校」、「小中一貫校」、「通学区域制度の弾力的運用(*1)」を希望する場合は、受入れ制限や申込み期限がありますので詳しくは浜松市教育委員会にご相談ください。

お問い合わせ

浜松市教育委員会 学校教育部 教育総務課 就学支援担当課

(053-457-2401)

(*1)通学区域制度の弾力的運用…「指定校より自宅から最も近い小学校」または「自宅の指定中学校区内にある小学校」に通わせたい場合

《発達支援学級の場合》

学区（指定校）があります。学区外を希望される場合は、早めに浜松市教育委員会にご相談ください。

お問い合わせ先

浜松市教育委員会

学校教育部 指導課 教育総合支援センター 発達支援グループ

(053-457-2428)

Q9. 学区の入学希望の学校を見学できますか？

A. 見学はできます。

《通常の学級の見学》

直接、学区の入学希望の小学校に「通常の学級見学希望」の旨ご連絡ください。

《発達支援学級の見学》

浜松市教育委員会 指導課 教育総合支援センター 発達支援グループに「発達支援学級見学希望」の旨ご連絡ください。

お問い合わせ先

浜松市教育委員会

学校教育部 指導課 教育総合支援センター 発達支援グループ

(053-457-2428)

就学にむけてあれこれ悩んでいる時に、「見学」という行動をおこすことは心身共に大変なことです。

でも、事前に学区の入学希望の小学校に足を運び、実際に学校や児童の様子を見ることで、頭で考えるより、色々な事がわかったり、見えたりするものです。

それは、その小学校がお子さんにとって安心して成長していける環境かどうか、保護者として判断するひとつの基準になっていきます。

他に、事前連絡の必要がない「学校公開日」や「運動会」などを利用してのぞいてみるのも、「見学」より気軽にその学校や児童の雰囲気を感じるができる方法です。

いずれにせよ、保護者やお子さんの負担が少ないと感じられる方法を選んで「環境・進路確認」できるといいですね。

入学する学校が決まったら…

Q10. 入学前にどんな準備をしたらいいですか？

- A. ①入学予定の学校に、お子さんの特性を知ってもらいましょう。
②入学予定の学校に慣れておきましょう。
③自分の身のまわりのことができるよう練習しておきましょう。

①入学予定の学校に、お子さんの特性を知ってもらいましょう。

必要によっては、入学予定の学校に連絡し、校長先生に相談を申込むことができます。教育委員会から学校に連絡をいれてもらうこともできます。

他に、10月～11月に行われる就学時健康診断や2月～3月に行われる入学説明会で教育相談の場が設けられている学校もあります。こちらも希望すれば相談することができます。

また、子どもの関係者(*1)が一同に会する「ケース会議」を行うと効果的です。

「ケース会議」を行うことで、学校側の受け入れ態勢が整えやすくなるためスムーズに小学校生活をスタートできます。

入学前に「ケース会議」の開催を希望する場合は、浜松市教育委員会へ連絡します。

「ケース会議」の際は、お子さんが学校生活を円滑に過ごすために、できるだけ多くの具体的な情報を小学校に伝えておくことが大切です。(特性、注意してほしいこと、苦手なこと、好きなこと、コミュニケーションの特徴など)

(*1)子どもの関係者…幼稚園や保育園の担任・療育関係者・ことばの教室の担任・かかりつけ医など

お問い合わせ先

浜松市教育委員会

学校教育部 指導課 教育総合支援センター 発達支援グループ

(053-457-2428)

②入学予定の学校に慣れておきましょう。

- ・通学路を子どもと歩いて、気をつける箇所、交通ルールも教えながら慣れておきましょう。
- ・学校の運動場で遊ぶなど、学校の施設にふれておくのもいいでしょう。
- ・学校によっては、集団登校の体験や、給食・授業見学会もあります。保護者のみなさんがお子さんと一緒に体験して、学校・地域に対して安心感を持つことは、お子さんが安心感を持つことと同じくらい、とても大切なことです。

③自分の身のまわりのことができるよう練習しておきましょう。

- ・食事、着替え、トイレ（洋式・和式）ができるようにしましょう。
- ・座ってする活動及び聞くことに慣れておきましょう。（絵本の読み聞かせなど）

できれば、お絵かきやぬりえなどを通じてエンピツなどを持つ機会をふやしたり、傘のさしかた・しまい方、ランドセルを一人で背負ってみる、ランドセルや横断バックに荷物をつめてみるなどを体験しておくとともに安心ですね。

もちろんカンペキにできなくても大丈夫！日々の遊びの中に取り入れ、少しずつでも楽しく身に付けていけるといいですね。

Q 1 1. 入学式のような特別な行事が苦手な子です。当日にむけてどうしたらいいですか？

A. お子さんの不安材料を減らしてあげましょう。

お子さんが見通しをもち、希望をもって式に臨めるように、式当日の流れや小学校についてわかる範囲でお子さんにお話しておくとい良いでしょう。

特に、慣れない場所や式などに対してお子さんの不安が大きい場合は、入学予定の小学校で、入学式当日の一日の流れを保護者とお子さんが一緒に実際の場所に移動しながら確認することができます。その場合は小学校に相談しておきましょう。

その時に会場確認だけでなく、養護教諭、当日の受付担当、教務主任、発達支援教育コーディネーターなどお会いできる先生方とお話することをおすすめします。

先生方とお話することで、先生方にとってはお子さんの確認になりますし、保護者にとっては、先生方とお子さんの不安材料の軽減対策の打ち合わせができる機会になります。

Q 1 2. 仕事をしています。発達支援学級に入級希望でも、放課後児童会に申し込みできますか？

A. 申し込みはできます。

就学健康診断のとき、希望者に配布される放課後児童会入会申込書、就労証明書等の提出により申し込みできます。

所属学級にかかわらず、入会選考基準に基づいて判定されます。

放課後児童会は、各地域の放課後児童会育成会や委託団体により運営されていますので、詳しいお問い合わせ先は、浜松市のホームページより子育て情報サイトぴっぴの「放課後児童会一覧表」にてご確認ください。

その他のお問い合わせは、浜松市教育委員会 教育総務課または、お住まいの区役所 社会福祉課のこども福祉担当まで。

お問い合わせ先

浜松市教育委員会 学校教育部 教育総務課 053-457-2401

お住まいの区役所 社会福祉課 こども福祉

中 区	053-457-2035	東 区	053-424-0175
西 区	053-597-1157	南 区	053-425-1463
北 区	053-523-2893	浜北区	053-585-1121
天竜区	053-922-0023		

Q 1 3. 浜松市は「集団登校」があると聞きました。集団登校に関する問い合わせ先はどこですか？

A. お子さんの入学先の小学校にお問い合わせください。

浜松市は1年生から6年生までの児童が、一定の規模の集団になって一緒に登校する「集団登校」を取り入れている小学校があります。

その形態は・年間通して実施している・ある一定の期間のみ実施している・全く実施していない、というように小学校ごとに異なっています。

また、管轄もPTAであったり、地域であったりとこちらも各小学校単位で異なりますので、詳しくはお子さんの入学先の小学校にお問い合わせください。

入学後

Q 1 4. 担任に子どもの特性を伝えたいのですがどうしたらいいですか？

A. できるだけ早いタイミングで担任とお話または、「面談」をしましょう。

お子さんの快適な学校生活を支援していくため、担任と保護者の連携が大切です。

学校での活動が本格的に始まる前、できれば入学式当日に式が終わってからタイミングをみて担任とお話できるといいですね。

伝える事が多い場合は、入学式終了後に担任と「面談」ができるよう、あらかじめ学校に連絡しておきましょう。

学校の都合で入学式当日に面談が組めない場合もあります。できるだけ、入学式から近い日程で「面談」ができるように調整してもらいましょう。

担任にお子さんの特性を早めに知ってもらうことのメリットは、担任がお子さんの特性を踏まえた上で学校生活の指導がしやすくなること、さらに担任と保護者が「早めに情報を共有しあう」ことで、担任と保護者が連携し予想される子どものトラブルを最小限にすることができ、あわせて子どもが生きにくさをもちながらも頑張っていることを学校と家庭の両方で認めてあげる機会が増えることです。

《面談をする場合、担任に伝えておきたいこと・決めておきたいこと》

相談内容はあらかじめ「箇条書き」にまとめ、当日は書いたものを担任と確認しながら必要なことを書き込みます。

面談後、書いたものをコピーし、お互いに保管します。

(担任に伝えておくこと)

子どもの特徴・特性、苦手なこと、得意なこと・好きなこと、支援して欲しいこと、見守って欲しいこと、気をつけて欲しいこと等を伝えるとよいでしょう。

* 就学教育相談時に使用した資料やその後の子どもの情報を提示しましょう。

(担任と決めておくこと)

保護者と担任とで、家庭での「子どもの家での様子や困っていること」、学校での「お子さんの学校生活の様子や保護者に相談・確認したいこと」などについての連絡の仕方や頻度について、確認しておくとお子さんの支援連携がスムーズになりますよ。

Q 15. 参観日以外の日に授業などを参観することはできますか？

A. 学校の保護者や今後就学を予定している保護者は参観できます。

浜松市の小学校は校長の許可の下で、現在通われている小学校の保護者は、参観ができるようになっています。参観希望の際は、担任を通して連絡をします。

子ども達の学校での様子は、普段の授業風景の中にこそ見ることができます。教科担任の授業も含め、積極的に学校を訪問しましょう。先生方と何度も顔を合わせることで、信頼関係を育むこともできます。

学校によっては保護者による学校内でのボランティア活動があり、(図書ボランティア、読み聞かせなど)基本、年度始めにメンバーを募集します。ボランティア活動に参加して、お子さんの様子や学校、児童の様子を感じるのも有効ですよ。

Q 16. 子どもの困り感を担任に相談するときどのように伝えたらいいですか？

A. 誰が、いつ、何に、なぜ困っているかを整理して伝えましょう。

「連絡帳」「電話」「本読みカードの空欄(付箋紙も利用)」などを利用するといいでしょう。

ポイントは、感情的にならず「事実」を簡潔に要約して伝えることです。学級の担任は非常に多忙です。そのなかでこちらの困り感を理解してもらうには、担任の負担にならない文章量にするなどの心配りが、お互いの情報交換をスムーズにします。

保護者が担任と信頼関係を築くため、困ってから連絡するのではなく、良好な状態の何もない普段に、子どもの様子、保護者の思いなどを伝えていくことはとても有効です。

「保護者と担任との信頼関係」が学校で頑張っているお子さんの強力なサポートになります！

忘れがちなのですが、先生に対応してもらったことに関しては、感謝の気持ちを伝えていきましょう。

学年が上がるにつれて、クラブ・部活動、委員会活動、総合学習など、担任だけでなく色々な先生方との繋がりがでてきます。

担任以外にも、保護者が「話しやすい先生」を作っておくことをおすすめします。

必要によっては、年度の終わりに、子どもに関わる人たち（保護者、担任、発達支援教育コーディネーター、学年主任など）が会する「相談会」または「面談」を希望することができます。1年間の課題と成果を確認し、次年度の課題を整理します。年度初めは、できるだけ早い時点で（始業式など）担任と面談していきましょう。「相談会」や「面談」は続けて行うことが大切です。

Q 17. ①「発達支援学級」、②「通級指導教室」、③「発達支援教室」 それぞれ、何が違うのですか？

A. お子さんの教育的ニーズの違いによって、それぞれの場所で受けられる教育的支援に違いがあります。

①発達支援学級…1学級は8人まで。お子さんの実態に合った内容や方法で国語、算数などの教科学習、日常活動の指導、生活単元学習、作業学習がおこなわれます。お子さんの状態に応じて、通常の学級との交流および共同学習をおこなっています。

②通級指導教室…小学校の通級指導教室は、①「言語（ことばの教室）の教室」
②「LD（学習障害）、ADHD、高機能自閉症等の教室」があります。ことばの発達に遅れがある、特定の教科が苦手、落ち着きに欠ける、人とのやり取りが苦手なお子さんのための教室です。
通常の学級に籍を置くお子さんが対象。週に1回程度、教室に通って指導を受けることができます。

③発達支援教室…在籍学級の時間割の内容で、教科の補充学習が中心。指導員が学校内の別室にて個別指導、または在籍学級での寄り添う指導などをおこないます。原則として通常の学級に籍を置くお子さんが対象。
指導時間は子どもの状態と対象児の状況により各学校で計画的に運用されています。

①、②については国の法律により認められた学級・教室、③については浜松市独自の取り組みとなっています。

③「発達支援教室」については、浜松市独自の取り組みのため、各学校ごとの運用となっており、浜松市内でも設置されていない小・中学校もあります。

①、②についてはお子さんの通う学校へ保護者からの申し込み（教育委員会にて審査あり）、③については、学校判断で保護者の承諾を得ての実施となっています。

詳細については、下記の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先

浜松市教育委員会

学校教育部 指導課 教育総合支援センター 発達支援グループ

(053-457-2428)

Q18. 何か学校で困った場合の相談窓口はどこですか？

A. 通常の場合は、担任や養護教諭に相談します。

場合によっては、校長・教頭・発達支援教育コーディネーター・スクールカウンセラーなどに相談を申し込むことができます。

学校以外の相談場所としては、「教育総合支援センター」、「浜松市教育委員会」、「浜松市発達相談支援センター ルピロ」などがあります。

民間で相談を受けている団体は、「こども育ちレスキューネット」などがあります。

【お問い合わせ先】

- ・ 教育総合支援センター …… 053-457-2424

- ・ 浜松市教育委員会 学校教育部 指導課 教育総合支援センター
発達支援グループ …… 053-457-2428

- ・ 浜松市発達相談支援センター
「ルピロ」 …… 053-459-2721

- ・ こども育ちレスキューネット… 090-9192-5333

Q19. 学校（教育）のこと以外で困った時の相談場所がありますか？

A. あります。

保護者の不安な気持ちはお子さんになんとなく伝わり、問題行動としてあらわれることがあります。専門的な角度からのアドバイスや支援は、お子さんはもちろん、保護者の不安を和らげ、子育ての支えになることが多いものです。お子さんを真ん中に家庭、医療、福祉等、みんなで『子どもが笑顔で自分が大好きになる子育て』していきたいですね。

【お問い合わせ先】

「医療」

子どものこころの診療所 …………… 053-452-8080

*完全予約制で地域クリニック（医療機関）や発達相談支援センター「ルピロ」からの紹介状が必要です。

メンタルクリニック・ダダ …………… 053-586-8001

ダダ第二クリニック …………… 053-444-5010

*予約状況により、新規予約を受付けることもあるので、直接ご確認ください。

浜松市発達医療総合福祉センター

友愛のさと診療所 …………… 053-586-8804（シグナル直通）

*浜松市発達医療総合福祉センター内「シグナル」にお問い合わせください。

浜松医科大学 医学部附属病院

精神科神経科受付 …………… 053-435-2635、2636

小児科受付 …………… 053-435-2638、2639

*完全予約制で地域クリニック（医療機関）等からの紹介状が必要です。

「福祉」

相談支援事業所「シグナル」 …………… 053-586-8804

浜松市発達相談支援センター

「ルピロ」 …………… 053-459-2721

おわりに

私たちには、必ず生まれた日、誕生日があります。

4月生まれの子と3月生まれの子には約1年の成長差があります。

しかし、年齢を重ねるごとに、同級生とのあいだにある成長の差は縮まり、やがて気にならなくなっていきます。

人は歳を重ねても100%完璧な人はいないと思います。

ましてや、生まれて数年、初めての集団生活を送っているお子さんです。毎日、生きるために大きな壁とぶつかりながら、日々集団生活をしています。

時にその姿は、保護者から見たら不器用にうつることもあるでしょう。確かに、器用に集団生活を送れるお子さんもいるのは事実でしょう。幼稚園や保育園で年長ともなると、自分のお子さんとまわりのお子さんとの成長を比べて一喜一憂することも多くあると思います。

そんな保護者の方にこそ、このQ&Aをとってもらいたいです。

“あれが出来ない” “これが出来ない” “出来ないので頑張って出来るようにさせよう！！” 私たち先輩お母さんも経験した日々です。そして、経験した私たちだから言える一言。

『周りのお子さんとは比べるのではなく、今のお子さんをありのまま見てあげること』

このQ&Aを通して、これからの学校生活で想像している不安や悩みを自分の心だけにしまわず、学校・行政・医療等に相談出来ることを知ってもらいたいです。

相談することで就学に対する選択肢が増えます。選択肢を増やした為にみなさんはたくさん悩むことでしょう。でも、悩んだ時間が多いほど、導き出した選択結果に自信を持ってお子さんに寄り添うことが出来ます。

親子で安心して学校生活の一步が踏み出せるように、このQ&Aをご活用ください。

2016年6月 アクティブ代表 浅井 陽子

active.

アクティブ

『子どものこと・学校のこと・地域のこと・考える・行動する・解決する』
をテーマに、発達につまずきのある子どもたちの生きやすい環境づくりのために活動
している保護者と支援者で構成されている団体です。

ブログ

<http://active.hamazo.tv/>

くらぶアクティブ

検索

Facebook

<https://www.facebook.com/active.hamamatsu/>

本文に関するご意見・ご質問はアクティブまで

代表 浅井 陽子

E-mail active.hamamatsu@gmail.com

改訂3版 2017年6月